4 魅力ある夜間景観づくりの進め方

福井市のこれからの夜間景観について「福井市景観審議会」（都市や建築等の学識経験者、各種団体、行政、地元事業者やあかりの専門家等で協議）を開催し、「福井市夜間景観ガイドライン」を策定しました。「ガイドライン」を策定するだけでなく、市民一人ひとりが福井市の夜間景観を創っていくという意識を持ち、あかりの整備を計画する際に本ガイドラインをご活用いただき、夜間景観を少しずつ整えていくことが大切です。ここでは、発案から実際の整備までの流れと仕組みを紹介します。

①はじめる

住宅・店舗・商店街などのあかりを整備したい！

事業者
建築主
地域団体等

相談

アドバイザー

専門家（設計士、デザイナーなど）への相談

発注

工事施工業者

ガイドラインを参考に、よりよい照明整備を目指しましょう！

ガイドライン参照

②計画する

現状を把握する　アドバイザー

まずは、その空間の「特徴」を確認しましょう。
周囲の建物の様子や、どんな人が集まり、昼と夜でどう雰囲気が変わるのか、現状をよく観察します。

イメージする　アドバイザー　工事施工業者

その空間にふさわしい、理想の夜を想像します。「どんなあかりがあれば心地よいか」「どうすれば魅力が伝わるか」などを考え、計画を立てます。

試す　アドバイザー　工事施工業者

イメージを実現するための照明器具を選びます。実際に光を当ててみる実験（点灯実験）を行い、実際の状況を確認して詳細を決めます。

一定規模以上の工事については景観届が必要です

③整備する

取り付ける　工事施工業者

計画に基づき、適切な位置に照明器具を設置します。建物や周囲の景観を考慮し施工します。

整える　アドバイザー　工事施工業者

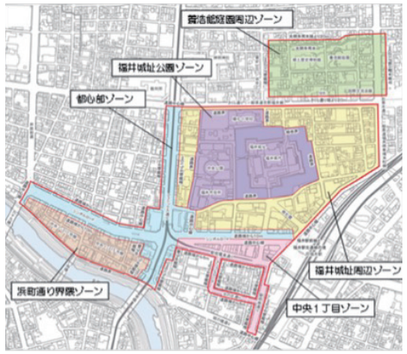
光の向きや角度を微調整します。グレアを防ぎ、安全・安心で「心地よい」空間に仕上げます。

よくある質問

ガイドラインの対象は？

本ガイドラインでは、福井のまちなかについて重点的に夜間の演出手法について記載していますが、構成している要素は市内全域で活用できる汎用的な内容です。そのため照明設置の際などは、エリアにとらわれず是非とも本ガイドラインをご活用ください。また照明や景観に関する基礎知識がない方にも伝わるように、視覚的で理解しやすい内容となっていますので一般市民の方から、施工業者の方までの共通理解のツールとしてもご活用ください。

福井市特定景観計画区域：福井都心地区エリア



整備の際には届出が必要なの？

福井市全域が景観計画に基づく景観計画区域であるため、一定規模以上の建築物等の新築、増築、外観変更等を行う場合に30日前に景観法に基づく景観届が必要です。事前相談や届出時に、本ガイドラインを周知し、照明等の計画にあたり本ガイドラインを活用していただくよう依頼しています。届出対象に該当しない規模であっても、設計・施工の際には是非、本ガイドラインをご活用ください。
※届出対象行為の詳細は都市整備課までお問い合わせください。

対象区域 ／ 届出対象行為	福井市景観計画区域 福井都心地区、一乗谷地区	福井市景観計画区域：福井市全域 （左記の福井市特定景観計画区域を除く）
建築物の新築、増築、外観変更など	延べ床面積10㎡超 （外観の変更の場合は実施面積10㎡超）	■ 店舗等 高さ12m超、又は延べ床面積1,000㎡超 ■ 事務所、住宅等 高さ18m超、又は延べ床面積2,000㎡超

専門家の意見を聞けないの？

福井市には景観アドバイザー制度があり、良好な夜間景観の空間づくりに関する助言を行います。詳しくは都市整備課までご相談ください。

整備費用について補助制度はあるの？

本ガイドラインに即したまちなかでの良好な景観形成に資する整備を「景観まちづくり事業補助金」等で支援しています。ただし、補助制度は毎年様々な状況にあわせて変更となりますので、詳しくは都市整備課までお問い合わせください。

あとがき

「夜も楽しさあふれる 福井のまちなか」を目標として改定された本ガイドラインは、訪れる人々へのおもてなしだけではなく、福井で暮らし活動する方々が「心地よい」と感じられる景観づくりを目指しています。質の高い夜間景観は、まちに安心感を与え、日々の時間を豊かに彩ります。こうした空間は、行政だけでなく、事業者や建築主、地主の方々など、福井市に関わる皆様の力が欠かせません。そのため、誰もが「自分にできること」を具体的にイメージできるよう、事例や図解を豊富に取り入れた「分かりやすさ」にこだわりました。

本ガイドラインは「福井のまちなか」を主な題材としていますが、そこで示した演出手法等は、市内全域で活用できるものばかりです。エリアの枠を超え、特徴を活かした空間づくりに広く役立てていただけることを願っています。そうして灯された一つ一つのあかりが、福井らしい情緒を織りなしていきます。その積み重ねにより、自分たちの住むまちへの愛着を深め、誇りへとつながっていくことが、本ガイドラインに込めた真の願いです。

結びに、策定にあたり多大なご協力をいただきました関係者の皆様に、厚く御礼申し上げます。ワークショップの開催や広報活動により、多くの方に本ガイドラインを知っていただき、福井の夜が、皆様と共に一歩ずつ、より魅力的なものへと発展していくことを目指して、これからも歩みを止めることなく尽力してまいります。